

2020年11月ケナフ協議会の現状報告について

ケナフ協議会会長（高知大学名誉教授） 鮫島一彦

令和2年（2020年）11月12日（木曜日）

新型コロナウイルスの脅威は第2波、第3波となり、今なお全世界を席卷しています。早く治療法が確立してくれることを望むばかりです。

この2020年度（令和2年度）は、従来のケナフ協議会の通常の活動を休止しています。しかし、国内外のケナフ関係者の事業は、いろいろの形で進行し続けているはずで、コロナや気候変動などの影響で、頓挫した事業もあるとは思いますが、元気な子供たち同様、オンラインシステムなどを活用して前進を続けている事業も多々あるはずで、現場を直接見られないのは残念ですね。ケナフ協議会もオンライン、郵送などでの理事会、通常総会、役員会などを現執行部（正副会長・専務理事・事務局で構成）の責任で実施しすでに報告することができました。しかし、新型コロナウイルスの感染の影響が続き、当初9月末までの期限を12月末までに延長して会員、非会員の皆様からも情報をお願いしながら、現執行部で今後についての検討が続いています。その検討状況を2020年6月公表の「ケナフ協議会の現状報告」以降について報告します。参考にしてください。

持続可能な社会をめざすケナフ協議会の2021年度以降の活動について

- 1) 日本万国博覧会記念基金への交付申請
- 2) 紙おむつリサイクル工場の見学予定

ケナフ協議会は1991年の創立以来、一貫して地球温暖化防止などの地球環境保全のための、ケナフ等植物バイオマス（以下KBと略記）資源の栽培と利用が重要であると考え活動してきました。その中にはもちろん森林資源も含まれます。アフターコロナ・ウイズコロナ時代の新しい2021年（令和3年）からの活動では、“いのち輝く未来社会”の構築をめざす「2025大阪万博事業」とケナフ協議会の「ケナフ等植物バイオマス資源活用事業（KBプロジェクト^{（注1）}）」とを連動させ、「国連のSDGs事業」とも重ねながら数多くの大小の協働事業を国内外で実施する計画を執行部で立案しました。大阪万博の終了した、2025年以降も日本国内での「KBプロジェクト」の成果をグローバルに展開し、最終的には世界全体の多くの人々、団体との協働で地球環境保全に貢献し“いのち輝く未来社会”の構築を実現することをめざす方向です。

2021年度のKBプロジェクト推進事業では既に福岡県大牟田市で稼働している「紙おむつリサイクル工場の見学」と福岡県大木町での「地域総合開発モデル事業の現地訪問・地球環境保全のための国際セミナー」などを開催する計画です。両者の核となるケナフ協議

会団体会員のトータルケアシステムの「紙おむつリサイクル事業」は本年度 2020 年 10 月 27 日に環境大臣表彰を受けました。また、菅義偉首相は 2050 年までに温暖化効果ガスの排出量を実質ゼロにする目標を表明しました。このような状況下、ケナフ協議会の KB プロジェクトの事業理念は、大阪万博の理念とともに、国連の SDG s 目標達成のための活動の理念の普及に大きく貢献すると考えます。

先日（11 月 7 日）には藤枝市でのケナフ栽培試験地（高知大学時代の教え子のお世話）で芋ほりパーティーの企画に参加してきました。生憎の小雨でしたが、ワイルドに育ったほくほくのサツマイモを現場で焼き芋にして楽しみました！静岡では、令和 2 年度は 4 か所で小規模のケナフ栽培試験をしてもらっています。いずれも課題山積ですが、令和 3 年度も協力していただく予定です。これらの方々はケナフ協議会の現状を理解していません。ぜひ、上記のように、「KB プロジェクト」は前向きに検討が進んでいる現状を急いで公表する必要があります。よろしくご了解と今後のご協力をお願いします。



（静岡県藤枝市でのケナフ栽培試験）

（左の写真） 旭に映える藤枝のケナフ（今年は少しの予備試験） 2020 年 10 月 16 日

（右の写真） ケナフ栽培試験地での芋ほり（現場で焼き芋にしました） 2020 年 11 月 7 日

世界は大きく動いています。ケナフ協議会はコロナ影響下の 2020 年はこれまでの形での活動を停止しています。しかし、執行部では、新しい未来社会の構築にむけてケナフ協議会が今後も持続可能な形で貢献できるように、新しい体制の在り方の検討を続け、上記のような方向性を考えています。また、これまでのケナフ協議会の在り方、特に、事業の実施方法、財政基盤の確立などについての提案を 12 月末までにまとめ、現執行部案として提案の予定です。皆さんの積極的な参加を期待します。新しいケナフ協議会の活動を、2021 年度から始めましょう。

（注 1） →KB プロジェクト案（2020 年 8 月 28 日段階での鮫島試案） PDF ファイルがあります

正式には、理事会・総会での承認が必要です。